



郷小だより

茅ヶ崎市立浜之郷小学校

2023年5月1日

5月号

校長 安倍 武雄

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

始業式・入学式から早くも約一か月が経ちました。3時間の授業で始まった1年生は、21日から給食も始まり、少しずつ小学校生活に慣れてきたようです。6年生は1年生の給食の準備のために4校時後半から教室にお手伝いに行っています。何ととっても初めての給食です。



フォークを何回も落としてしまう子や、席に着くまでスープを揺らしてお盆がびちょびちょになってしまう子もいますが、さすが6年生。肩に手を添え、1年生にやさしく教えてあげています。6年生にとっても、1年生に頼りにされることで「最高学年」としての意識が高まってきています。6年生のこれからの活躍がとても楽しみです。

4月21日には、東京大学名誉教授佐藤学先生にお越しいただき、全てのクラスの授業の様子を見ていただきました。その後の研究会では「①一人残らず独りにならない学びの保障②質の高い学びの実現③専門家共同体としての学校の発展」についてお話をいただきました。浜之郷小学校が大切にしている「学びの共同体」について改めて教職員全員で確認をしたところです。その中で、私がドキッとしたのは「学びの偽装」という言葉でした。

「だまって先生の話聞き、きれいにノートをとってはいるものの、そこに学びはあるのか」という佐藤先生の言葉は、これまでの私の経験とも合致するものがありました。反抗するとか、やらないのではなく、ただただ従順に「先生に言われたことのみ」を肅々とすすめる、それで学んだつもりになっているというのはよくあったことだからです。知識や技能を身に付けるだけでなく、結局はそれをいかに「使うか」が今の時代、必要とされていることです。友達や先生とつながりながら、私たちが授業を工夫しながら、そういった力をつけていかなければとの思いを新たにしました。子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆様、地域の皆様もふくめ、学び続ける私たちでありたいと思います。

今年も感染症対策を講じながら、「支えあう」「聴きあう」「学びあう」環境を大切にしていけます。保護者の皆様には、「早寝、早起き、朝ごはん」をはじめ、学校で思いっきり活動できるよう、生活の面からも子どもたちを支えていただければと思います。